

事業名称：北但大震災復興 100 周年企画 復興建築祭
団体名：豊岡周辺市街地活性化団体 TO DO

1 事業内容

事業の名称 北但大震災復興 100 周年 復興建築祭

日時 11月8日ー9日

場所 豊岡市中央町18-1と豊岡市街地

内容

- ・豊岡の復興建築を活用した多世代が交流できる買い物とエンターテインメントが楽しめるイベント
- ・豊岡市街地で同時開催されているイベントとのコラボレーション

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
9月8日	企画会議 / 広報戦略会議	とゞ兵 / オンライン	5
9月25日	全体会議	とゞ兵 / オンライン	5
10月6日	告知開始		
10月29日	全体会議	とゞ兵 / オンライン	5
11月5, 6, 7日	会場準備	とゞ兵	7
11月8, 9日	イベント実施	とゞ兵	400
11月10, 11, 12日	片付け	とゞ兵	5
1月26日	経費精算完了		
2月2日	完了報告書提出		

2 事業の効果

(1) 団体（組織）内の効果

『復興建築群を舞台に』のテーマで実施までに市街地で『復興建築にちなんだ謎解き』『100年の復興建築群展示』など色々な企画があり、団体メンバーが各所で連携の仕組みを考え活動したことで、より意味のある企画となり地域資源を活用する意義もできた。

もう一つのテーマでもある、復興建築という難しそうなトピックをアカデミックになりすぎないように取り組んだことも誘客と来客の満足度を上げる結果となり団体としてとても勉強になった。

地域外の企業や参加者が多く参加してくれたことで団体として色々な勉強ができる良い機会となった。

(2) 地域への波及

全国区のアパレルブランドの取り組む『服の0円交換会』や東京からの古着屋『ドラセナガレッジセール』誘致により、かなり広範囲からの来客に成功し但馬エリアを越え復興建築を会場としていることで地域への関心を高めることとなった。

買い物の機会の少ないこの地域にお金を介さずに物の循環をつくるという『服の0円交換会』などの企画を近畿大学付属高校に相談し、高校生にアパレル店員体験としてスタッフとして手伝ってもらったことは地域のイベントに高校生が主体となってイベントに参加したこと、民間施設で開催したことにより、15:00-21:00+アフターパーティ23:00までと普段市街地で行われているイベント時間11:00-15:00の時間帯に来れない層の学生や仕事終わりの方が多く訪れたことはとても高評価を受けた。

LIVE も東京から世界で活躍するアーティストを呼んだことで豊岡だけではなく、養父市、朝来市、福知山市、京丹後市と神戸や姫路、大阪、京都からも来客があり地域内外をイベントで繋ぐという素晴らしい結果となった。

イベント開催にあたり協賛金を募った際に地元企業としてまちのイベントへの関わる接点がなかったの
で、イベントを通してこの地域で活動されている人や地域外の方との接点も生まれ、今後も地域のイベントに参加していきたいと言っていたいただき、協働することで色々な方の参加する形ができた。協賛金の特典として起業様が参加しやすいようにLIVEの招待チケットなどを付けたことで普段はイベントに参加しない方への良いアプローチともなった。

3 協働の相手方

(一社) 豊岡アートアクション：伝説の市長 中貝さんと話せる会 開催
(一社) マチノイト : 復興建築のパネル展示、 復興建築の謎解き町歩き
株式会社 川嶋建設 : イベント告知協力及び協賛金
医療法人社団 大井医院 : イベント告知協力及び協賛金
株式会社 タカアキ : イベント告知協力及び協賛金

4 今後の課題等

(1) 団体(組織)活動を継続するための工夫等

参加型のイベントを創り上げるために、今回の良かった点を活かし積極的に地元企業の参加できる仕組みを考えたり、地域外へも波及させるためにもっと関わってもらえる内容を取り入れていきたい。アパレル企業誘致やプロのアーティストの誘致など費用がかかるため、より確実な収益ベースを作る必要がある

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

買い物の機会創出とリサイクルやアップサイクルなど循環をテーマに、アパレル企業が参加してくれているので、次回はキッズファッションショーなどを取り入れて、参加する楽しさも加えて多世代が交流できる工夫を考えています。

このイベントが成熟してきたら市街地各所にある復興建築を会場としてまち歩きも加えてより多くの施設に地域内外の人が訪れる機会を創出していきたい。

【R7/11/8~9 イベント当日の様子】

